

建築設計標準の 今後の方向性について（たたき台）

建築設計標準の今後の方向性（たたき台）

- フォローアップ会議では、建築物のバリアフリー化の促進に向けて、引き続き先進事例等の共有を進めるとともに、関係者が連携して建築設計標準や先進事例等の普及・周知を促進する。
- 併せて、会議でのご意見や議論された事項、蓄積された多様な取組・事例をもとに、適宜、建築設計標準に反映するなど、記載内容の充実化を図る。

今後の建築設計標準に関する取組（たたき台）

H27 ➡ H31 ➡ R3.3 ➡

蓄積した事例等を随時発信

●●● 建築設計標準の見直し

フォローアップ会議（年2回程度実施）

(1) 建築設計標準の改正(最終改正R3.3)

- ①小規模店舗のバリアフリー設計等に関する考え方・留意点の充実
- ②重度の障害、介助等に配慮したバリアフリー設計等に関する考え方・留意点の充実
- ③建築物のバリアフリーに関する優良事例の追加

(2) ホテル又は旅館に関する追補版(H31.3)

(3) 劇場・競技場等の客席・観覧席を有する施設に関する追補版(H27.3)

建築物のバリアフリー設計に関する内容の充実

- ・ 設計段階からの**当事者参加・意見聴取の取組事例**
- ・ 利用者への**配慮が足りない設計事例**
- ・ 既存建築物の**改修事例**（補助事業から事例収集）
- ・ 現地調査等を通じた建築設計標準の点検・評価 等

優良な設計事例・取組事例の充実

- ・ 建築設計標準の記載事項を取り込んで整備された建築物の事例
- ・ 当事者からの意見聴取を反映した設計事例 等